

令和6年能登半島地震 志賀原子力発電所での観測記録について（スペクトル値）

表1.1 岩盤中（EL-10m）の観測記録の加速度応答スペクトル値
（図1.3に対応）

水平方向

		周期0.02秒の スペクトル値	耐震バックチェック時のSs-1 を上回る周期（0.4545秒）の スペクトル値
観測記録 （岩盤中（EL-10m））	NS方向	250 Gal	—
	EW方向	313 Gal	979 Gal
耐震バックチェック時のSs-1 （解放基盤表面（EL-10m））	水平方向	600 Gal	969 Gal
2014年申請時のSs-1 （解放基盤表面（EL-10m））	水平方向	1000 Gal	—

鉛直方向

		周期0.02秒の スペクトル値	耐震バックチェック時のSs-1 を上回る周期の スペクトル値
観測記録 （岩盤中（EL-10m））	UD方向	192 Gal	—
耐震バックチェック時のSs-1 （解放基盤表面（EL-10m））	鉛直方向	405 Gal	—
2014年申請時のSs-1 （解放基盤表面（EL-10m））	鉛直方向	600 Gal	—

表2.1 1号炉原子炉建屋における水平方向の入力地震動の加速度応答スペクトル値
(図2.2に対応)

NS方向

		周期0.02秒の スペクトル値	耐震バックチェック時のSs-1 を上回る周期の スペクトル値
岩盤中の観測記録を用いて 求めた入力地震動 (EL-7.1m)	NS方向	218 Gal	—
耐震バックチェック時のSs-1 (入力地震動 (EL-7.1m))	NS方向	461 Gal	—

EW方向

		周期0.02秒の スペクトル値	耐震バックチェック時のSs-1 を上回る周期 (0.4762秒) の スペクトル値
岩盤中の観測記録を用いて 求めた入力地震動 (EL-7.1m)	EW方向	264 Gal	957 Gal
耐震バックチェック時のSs-1 (入力地震動 (EL-7.1m))	EW方向	453 Gal	918 Gal

表2.2 2号炉原子炉建屋における水平方向の入力地震動の加速度応答スペクトル値
(図2.3に対応)

NS方向

		周期0.02秒の スペクトル値	耐震バックチェック時のSs-1 を上回る周期の スペクトル値
岩盤中の観測記録を用いて 求めた入力地震動 (EL-4.7m)	NS方向	219 Gal	—
耐震バックチェック時のSs-1 (入力地震動 (EL-4.7m))	NS方向	458 Gal	—

EW方向

		周期0.02秒の スペクトル値	耐震バックチェック時のSs-1 を上回る周期 (0.4762秒) の スペクトル値
岩盤中の観測記録を用いて 求めた入力地震動 (EL-4.7m)	EW方向	254 Gal	871 Gal
耐震バックチェック時のSs-1 (入力地震動 (EL-4.7m))	EW方向	435 Gal	846 Gal

表2.3 1号炉及び2号炉原子炉建屋における鉛直方向の入力地震動の加速度応答スペクトル値
(図2.4に対応)

		周期0.02秒の スペクトル値	耐震バックチェック時のSs-1 を上回る周期の スペクトル値
観測記録 (岩盤中 (EL-10m))	UD方向	192 Gal	—
耐震バックチェック時のSs-1 (解放基盤表面 (EL-10m))	UD方向	405 Gal	—